

— こう書けば分かる —

英語レポート・論文の構成

INTRODUCTION—序論—

- ・ 「この論文は何を研究するものか」を書く
- ・ 先行研究のまとめ
- ・ そのテーマを研究する意義

基本となる構成
(序・本・結)は
日本語論文と同じ。

BODY—本論—

- ・ 展開の例:現状を詳しく述べる
(データ、調査結果を利用する)

論文をどのように始め、
どのように展開させるかは様々です。

CONCLUSION—結論—

- ・ 「本論」の考察から自分はどうか考えたか
- ・ 今後の研究課題

分野ごとの特徴もあるので、
学会誌を見てみるのもよいでしょう。

◆ 以下は、英語論文によく使われるフレーズや用語の使用例です。
(あくまで一例です)

例 「この論文は何を研究するものか」を書く場合

“**This paper attempts to** answer the understudied question of the role of art in social movements. To do so, it examines the case of the use of art by the protest movement against Pinochet in Chile (Adams 2002: 22).”¹

他にも、

“This paper aims to ...”

“The purpose of this paper is ...”

などが使えます。

“This article **examines** the influence of Islam on attitudes toward democracy using public opinion data collected in Palestine (West Bank and Gaza), Morocco, Algeria, and Egypt (Tessler 2002: 337).”²

他にも、Explore, Analyze,

Investigate などが使えます。また、

Present, Describe にはより記述的

な、Argue には主張を強調させる

ニュアンスがあります。

¹ Jacqueline Adams. 2002. “Art in Social Movements: Shantytown Women’s Protest in Pinochet’s Chile.” *Sociological Forum*, 17 (1): 21-56.

² Mark Tessler. 2002. “Islam and Democracy in the Middle East: The Impact of Religious Orientations on Attitudes toward Democracy in Four Arab Countries.” *Comparative Politics*, 34 (3): 337-354.